

山林が涵養した水は地に蓄えられ、
やがて湧水は川となり流域を潤しながら
湖・海に流れ、多様な生物を育む浜を成す。
いま、霞ヶ浦流域に山林は少なく、
川は人の生活居住地を流れ、護岸により浜は消失しつつある。
しかし、そこに人の手を入れることで保たれる生物生態系や景観がある。
人の住む「里」と、自然の「浜・川・山」との関わり合い方を実例を通して知り、
「湖」に入る水について考える。

シンポジウム

第17回世界湖沼会議に向けて

里浜・里川・里山がつなぐ湖

平成30年 3月3日 土

13:30～15:30

会場：茨城県霞ヶ浦環境科学センター
多目的ホール

茨城県土浦市沖宿町 1853 番地

第1部 講演会

13:30～14:00 里浜の話「人と湖をつなぐ里浜づくり」

▶伊藤春樹 (一社)霞ヶ浦市民協会 元専務 滝下利男 同 前理事長

14:00～14:30 里川の話「小野川探検隊の活動」

▶春日清一 小野川探検隊連絡会議 会長

14:30～15:00 里山の話「筑波山と霞ヶ浦のつながり」

▶高田正澄 筑波山地域ジオパーク推進協議会市民活動部会 部会長

第2部 討論会

15:00～15:30 講演内容等について意見交換

- 総合進行 …真山淑枝 (一社)霞ヶ浦市民協会
- 講師および内容は変わることがあります

参加無料 申込不要

主催 受託団体 一般社団法人 霞ヶ浦市民協会
茨城県霞ヶ浦環境科学センター

問合先 一般社団法人 霞ヶ浦市民協会

〒300-0043 茨城県土浦市中央 2-2-16
TEL:029-821-0552・FAX:029-821-6209
E-mail:kcajimukyoku@dream.com
業務時間:火・木・金曜日 10:00～15:00